

# 平成30年度市民予算枠事業(協働推進型) 評価一覧

<別表1>

採択番号	事業名称	まちづくりパートナー(団体名)	内 容	評点	評定区分	来年度の意向
1	「美しい海をふたたび」事業 【通算13年目】	渡し場かもめ会	海の環境美化啓発、地域にある海岸の美化及び住民間・世代間交流を図るため、芳川町海岸線全域の海岸清掃ならびに海に親しむイベントを実施。衣浦の海を巡る他市町の団体とも交流して、みなとまちづくり活動の活性化の一翼を担う。	97.50	A	継続
2	子ども防災リーダー養成事業 【再提案3年目】	高浜の防災を考える市民の会	「自らの安全は自ら守る」「地域の安全は地域で守る」という意識を高めるため、高浜市の将来を担う子どもたち(小学4～6年生)をターゲットに、講座や体験をとおして、防災・減災に対する関心・理解を深めるとともに、「大家族たかはま」の一員として主体的な行動できる能力を高めていく。また、子どもたちへのアプローチをとおし、保護者などの若年層へも浸透・行動喚起を促し、家庭(個人)・地域・学校の連携を深めた「生きた防災教育」を推進し、地域防災力の底上げを図る。	98.50	A	継続 (再提案)
3	“昭和”で元気になる事業 【再提案3年目】	“昭和”で元気になる会	高齢者の閉じこもり防止や地域からの孤立防止および介護予防を積極的に推進するため、昭和をテーマに「高齢者の生きがいづくり」を行う。高齢者の介護予防には適度な運動と脳の活性化が効果的であるため、誰でも気軽に参加できる、昭和の良き時代をテーマに思い出語りや盆踊りなどを仲間と一緒に楽しみながら実施する。	100.00	A	継続 (再提案)
4	次世代を担う子ども若者の成長応援事業 【再提案2年目】	高浜(まち)づくり市民会議	市民ムービー「タカハマ物語」とおしてこども・若者の輪をさらに広げ、自主的に企画し、カタチにしていく取組みや大人との交流などを通じて、さらに未来に羽ばたく人財の芽を育てていく。また、さまざまな関わりの中から、子どもたちのために汗を流していこうと活動する地域の大人を増やすこともめざす。	97.00	A	継続
5	高浜市中学生防災・減災アカデミー 【再提案1年目】	高浜の防災を考える市民の会	想定されている巨大地震に対して、まだまだ市民の意識が上がらない中で中学生が防災リーダーとして、あらゆる場面で顔を出すことにより市民の防災意識向上につながる。また、子ども達が防災に関心を持つと、大人も一緒になって勉強する様になったり、小学校区の枠を超えて市内他校の人との交流ができ、児童に連帯意識がうまれるといった効果が見込まれる。	99.00	A	継続

市民予算枠事業(協働推進型)の採択に係る評定区分表

評定	評 点	次年度交付額の算定基準(上限額)
A	80点以上	初年度交付額の10分の10の額
B	60点以上80点未満	初年度交付額の10分の8の額
C	50点以上60点未満	初年度交付額の10分の5の額
D	50点未満	不採択